

公立学校からの脱出が増えて  
いる。

「ネット」が発表した「中学校  
選択に関する調査」によれば、  
子供に中学校受験をさせる定  
の小学六年生の保護者は、全  
年で三割。大都市ほど比率が高  
く、政令指定都市・特別区は  
二割半を超える。私立中学校志  
望者が子供一人に当たる教育費  
用は平均月六万円超える。  
公立には期待できない、育  
育指に見合った利権中学校  
によって得られるという前提が  
あるはずである。事実か。  
この簡に答える本主人、大  
学の志水宏吉教授が出版した  
『公立学校の底力』(ちくま新  
書)。西日本を中心に活躍する公  
立学校十二校をテーマとした



### 信頼される公立学校 「当たり前」を確実に

のである。地域の学校は、  
共に学習環境づくりを進める学  
校なら、各校の持ち味が興味深  
い。これも佳境から信頼され  
ている「力のある」公立学校が  
実在する証左といえる。本  
の最後には、力のある学校に共  
通した特徴が「スクールバス」  
モデルとして図解されている。  
スクールバスを構成する八つ  
の要因は「気持ちのそろった教  
職員集団」(エンジン)、「協力的な  
もの。だから「しまなみ」の  
ではなく、「子供教育すること  
」という点において大事なものほ  
「まごころ」(エンジン)が  
ゆえの必然的な結論である。  
公立学校からの脱出阻止策  
策は不要である。当然「前」  
を確実に実行する。出  
点はここにある。  
(志水の志水宏吉教授  
耳塚 龍)

2008.11.3 日経

表13-1 「力のある学校」の8つの要素—— together号

① 気持ちのそろった教職員集団	(Teachers)
② 戦略的で柔軟な学校運営	(Organization)
③ 豊かなつながりを生み出す生徒指導	(Guidance)
④ すべての子どもの学びを支える学習指導	(Effective teaching)
⑤ とともに育つ地域・校種間連携	(Ties)
⑥ 双方向的な家庭とのかかわり	(Home-school link)
⑦ 安心して学べる学校環境	(Environment)
⑧ 前向きで活動的な学校文化	(Rich school culture)

図13-2 「スクールバス together号」図解

